

大会開催時の感染防止策チェックリスト

<各専門部向け>

【全般的な事項】

- 感染防止のため各専門部が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示した
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認した
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1カ月以上）を定めて保存することを確認した
- 大会後に参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は部顧問等から専門委員長に報告するとともに、全ての参加者へ周知するシステムを構築した

【大会当日（受付時の対応）】

- 受付窓口には、手指消毒液等を設置した
- 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状はもちろん比較的軽い風邪の症状（体温が平熱より明らかに高い等）がある人は入場しないように呼び掛けた（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行った
- 受付等を行う大会関係者等には、マスクを着用させた
- 受付場所では名簿の提出等必要最小限の手続きとした
- 当日の受付時に混雑を極力避ける等の措置を講じた
- 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めた【様式1】
 - 学校名、氏名、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
 - 発熱の有無
 - 大会当日の風邪等の症状の有無

【大会当日（参加者への対応）】

- 参加者がマスクを準備しているか確認した
- 参加の受付、着替え等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めよう指導した（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- 大会前後のミーティング等において、三密を避けるよう指導した

【各専門部が大会当日までに対応すべき事項】

大会開催前の参加者への周知事項

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めることを周知した（部顧問が責任をもって把握しておくこと）
 - 体調がよくない場合（例：息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状はもちろん比較的軽い風邪の症状（体温が平熱より明らかに高い等）がある場合
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参することを周知した（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話する際にはマスクを着用することを周知した）
- 大会当日の受付で、書面の記入や現金の授受等を行わなくてもすむよう申込みの手続きを工夫した
- 感染防止のために各専門部が決めたその他の措置の遵守、指示に従うことを周知した
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、部顧問等を通じて専門委員長に報告することを周知した

手洗い場所・洗面所

- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意した
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示物等を作成した
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意した（参加者にマイタオルの持参を求めることや、布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないよう周知した）
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒液を用意した

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、各専門部と利用施設管理者と打ち合わせの上こまめに消毒することについて確認した
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう掲示物等を作成した

更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける措置を講じた（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じた
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒することについて確認した
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮することについて確認した
- 大会関係者等が使用する際は、入退室の前後に手洗いをすることについて確認した

飲食物の取り扱い

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けることについて確認した
- 回し飲みなどしないよう声掛けなどの対応をとることについて確認した
- 対面での食事や会話をしながらの食事を極力避けることについて参加者に周知した

待機者の管理

- 待機者同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ待機者同士の間隔をとる等の措置を講じた
- 大声での声援を送らないことや会話を控えることについて参加者に周知した
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を参加者に周知した

大会会場

- 大会を屋内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うことについて理解している
- 換気設備を適切に運転することについて利用施設管理者と打ち合わせ確認した

ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用することについて参加者に周知した
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒することについて参加者に周知した

本チェックリストはあくまでサンプルであり、各競技の特性等を勘案して、上記以外に感染拡大防止のための必要な取組を適宜盛り込んでいただきますようお願いします。

大会開催・実施時の感染防止策チェックリスト

<参加者向け>

【参加者が遵守すべき事項】

- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外に捨てないことについて理解している
- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることに理解している
 - 体調がよくない場合（例：息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状はもちろん比較的軽い風邪の症状（体温が平熱より明らかに高い等））がある場合
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参している（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用することについて理解している）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施することについて理解している
- 他の参加者、大会関係者等との距離（できるだけ2 m以上）を確保することについて理解している
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないことについて理解している
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うことについて理解している
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに部顧問等に報告することについて理解している
- 大会前後のミーティング等においても、三密を避けることについて理解している

【運動・スポーツを行う際の留意点】

- 十分な距離を確保し運動・スポーツを行うことについて理解している
 - 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けることについて理解している

水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をすることについて理解している（※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。

運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないことについて理解している

タオルの共用はしないことについて理解している

飲食については、指定場所以外で行わず、対面での食事や会話をしながらの食事を極力避けることについて理解している

飲食物の共有（回し飲み等）は行わないことについて理解している

本チェックリストはあくまでサンプルであり、各競技の特性等を勘案して、上記以外に感染拡大防止のための必要な取組を適宜盛り込んでいただきますようお願いします。